

# 今後の気象の見通し

2013/7/12

株式会社ウェザーマップ

107-0052 東京都港区赤坂5-4-9 COI赤坂五丁目ビル6F

TEL:03-3224-1785/FAX:03-3224-1786

<http://www.weathermap.co.jp/>





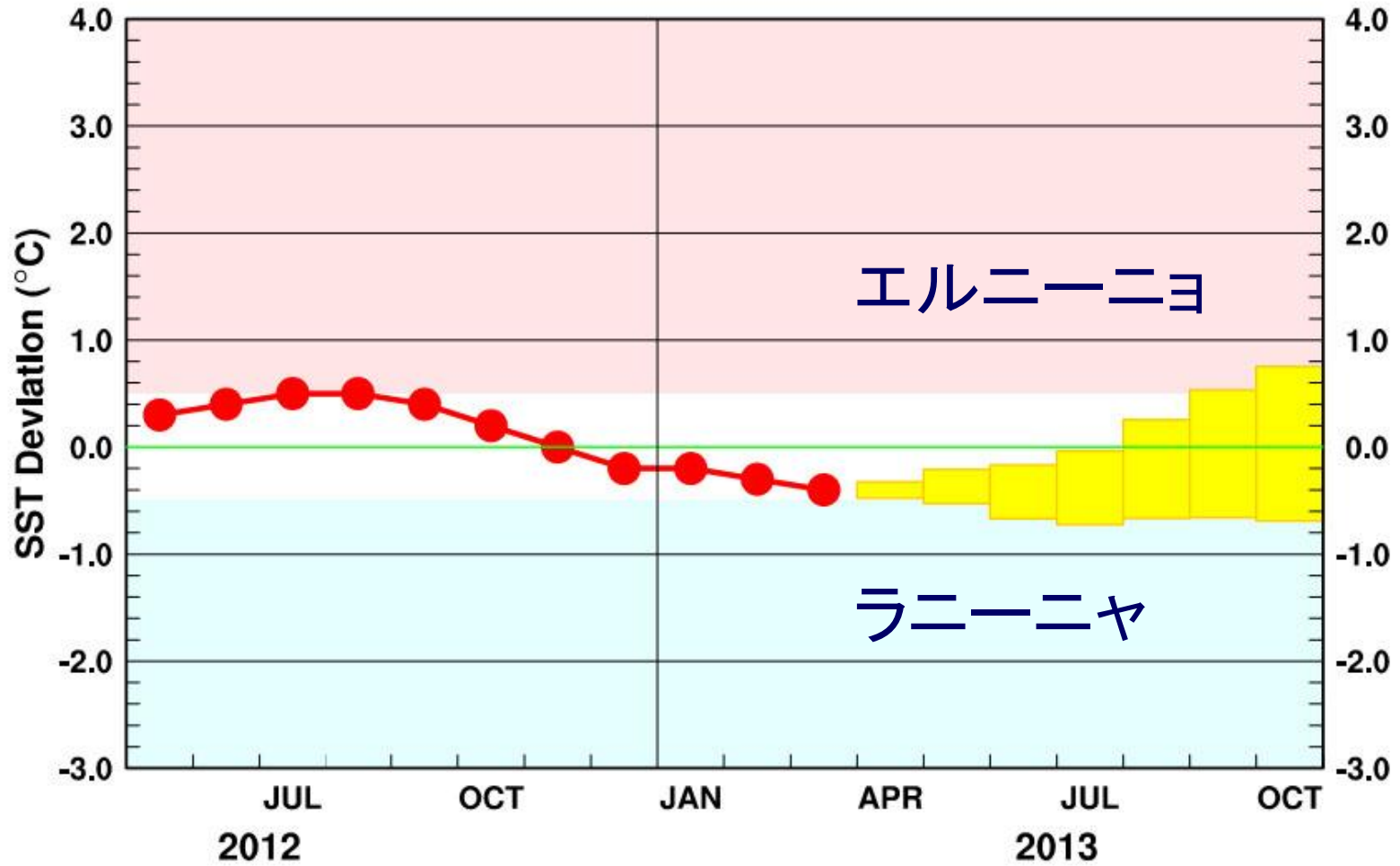
# 7~9月の予報

気温	3か月			7月			8月			9月		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高	低	並	高
北日本	20	30	50	20	40	40	20	40	40	20	40	40
東日本	20	30	50	20	40	40	20	40	40	20	40	40
西日本	20	40	40	20	40	40	20	40	40	30	30	40
沖縄・奄美	30	40	30	30	30	40	30	40	30	30	40	30

降水量		3か月			7月			8月			9月		
		少	並	多	少	並	多	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	40	30	30	30	40	30	40	40	20	40	30	30
	太平洋側	40	30	30	30	40	30	40	40	20	40	30	30
東日本	日本海側	40	30	30	30	40	30	40	40	20	30	40	30
	太平洋側	40	30	30	30	40	30	40	40	20	30	40	30
西日本	日本海側	40	30	30	30	40	30	40	40	20	30	40	30
	太平洋側	40	30	30	30	40	30	40	40	20	30	40	30
沖縄・奄美		20	40	40	30	30	40	30	30	40	30	30	40

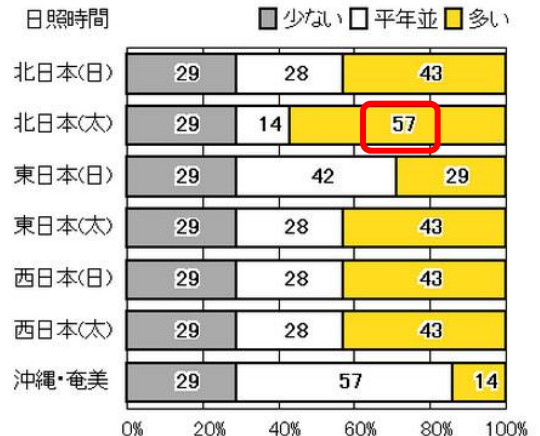
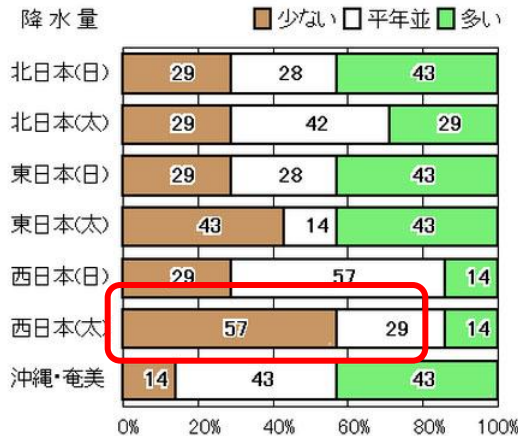
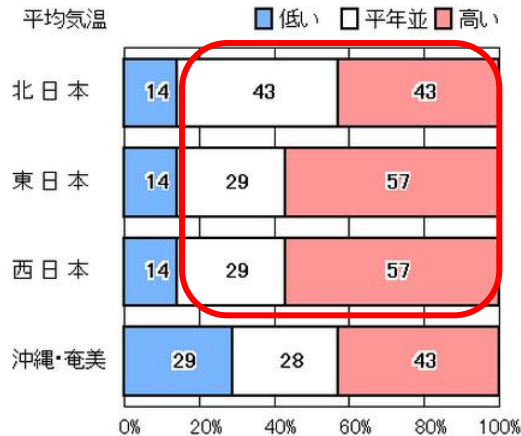


# エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測(5か月移動平均値)





# ラニーニャ現象発生時の天候の特徴(7~9月)



○平均気温は、北日本、東日本、および西日本で高い傾向。

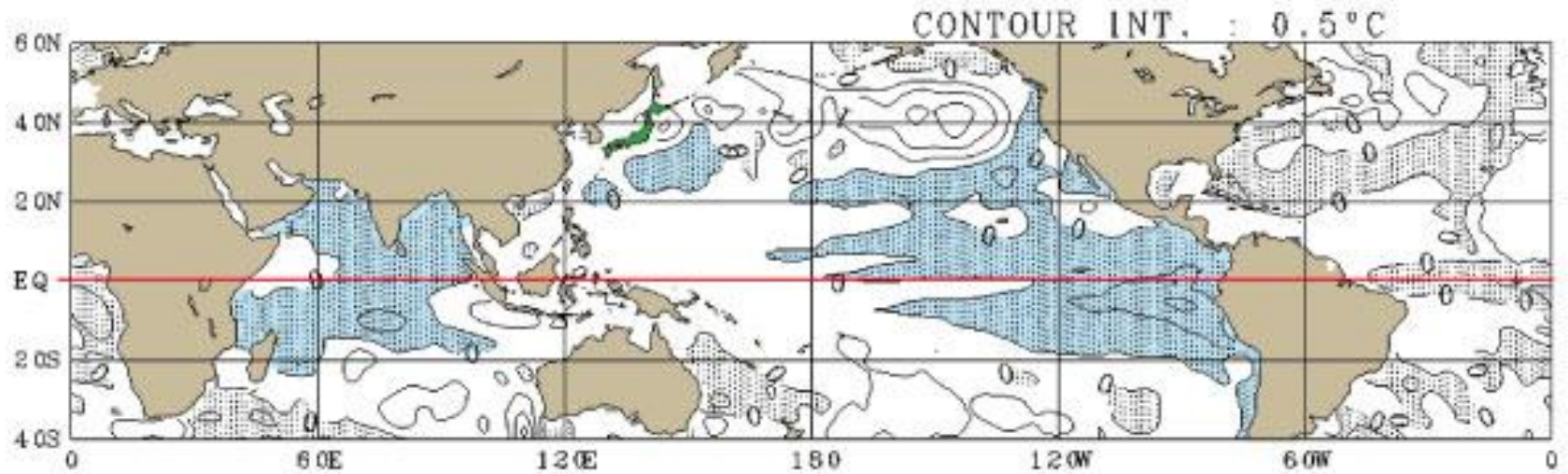
○降水量は、西日本太平洋側で少なく、沖縄・奄美で多い傾向。

○日照時間は、北日本太平洋側で多い傾向。



# 熱帯域海水温の予測

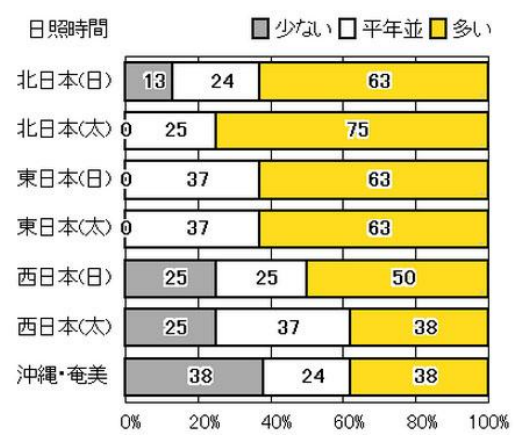
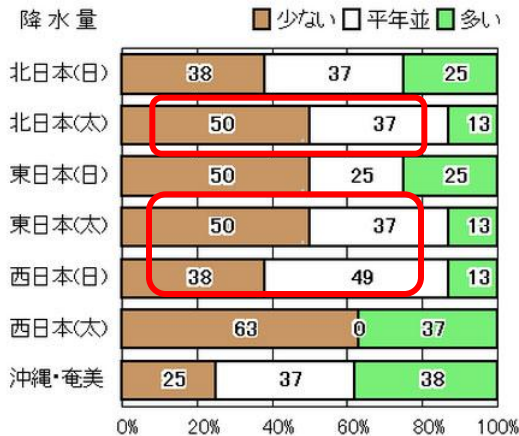
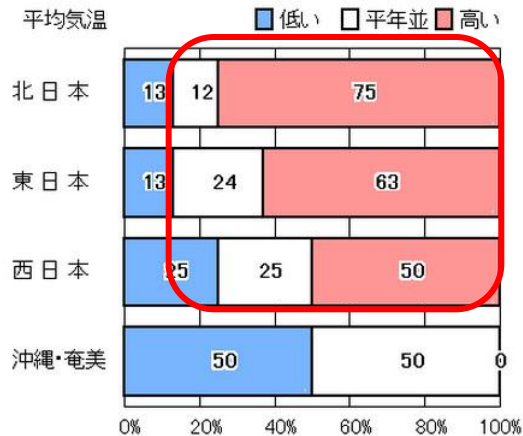
## 海面水温平年差の予想(7~9月)



東部太平洋赤道域で負偏差傾向は継続するが、ラニーニャ現象には至らない見込み。



# インド洋熱帯域の海面水温が低い時の天候の特徴(7~9月)



○平均気温は、北日本、東日本、および西日本で高い傾向。

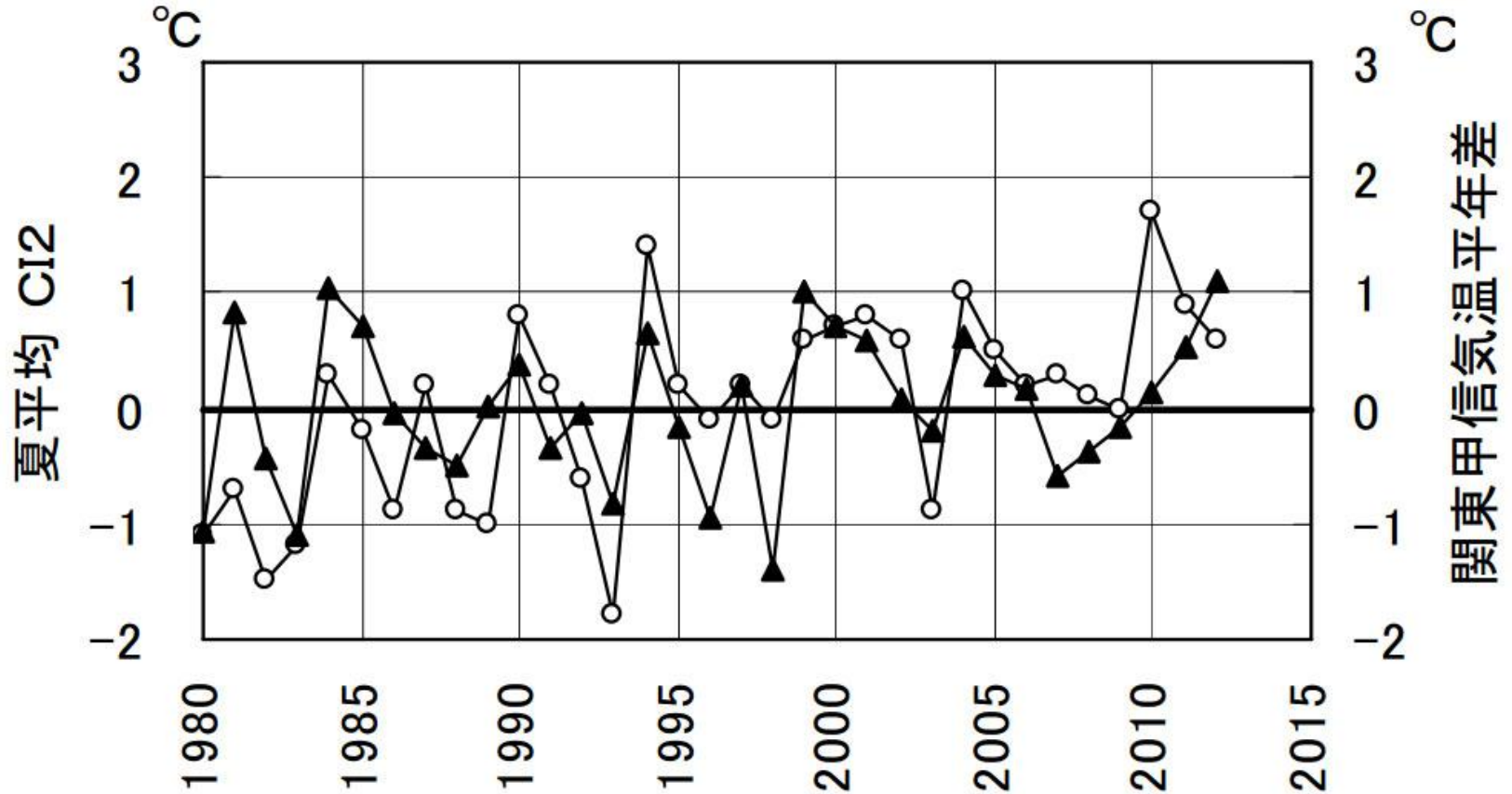
○降水量は、北日本太平洋側、東日本、および西日本日本海側で少ない傾向。

○日照時間は、北日本、東日本、および西日本日本海側で多い傾向。





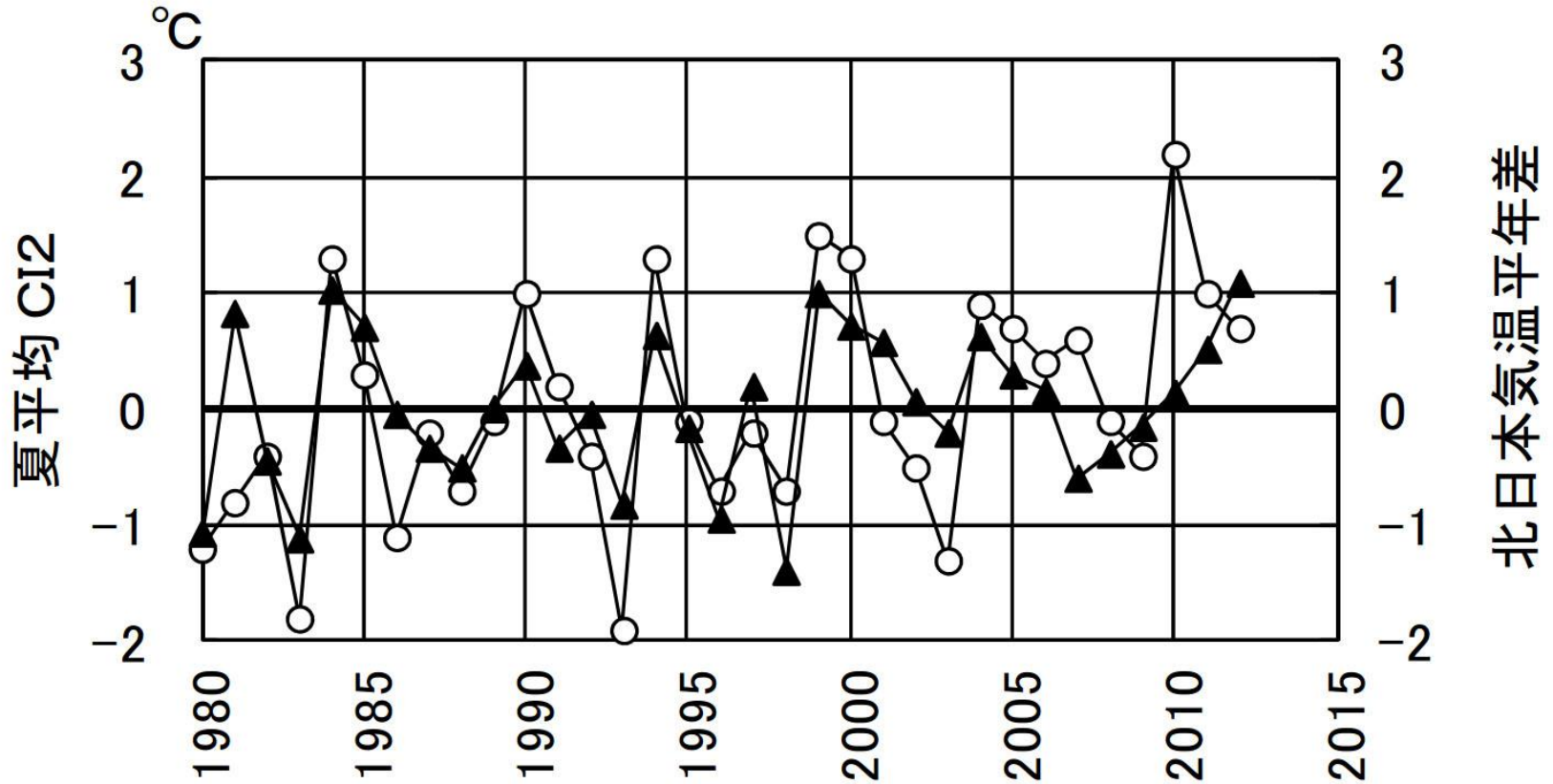
# 夏平均のフィリピン付近の対流活動の強さと関東甲信地方の気温



- ▲—: 夏平均のフィリピン付近の対流活動の強さ
- : 関東甲信地方の夏平均気温平年差



# 夏平均のフィリピン付近の対流活動の強さと北日本の気温

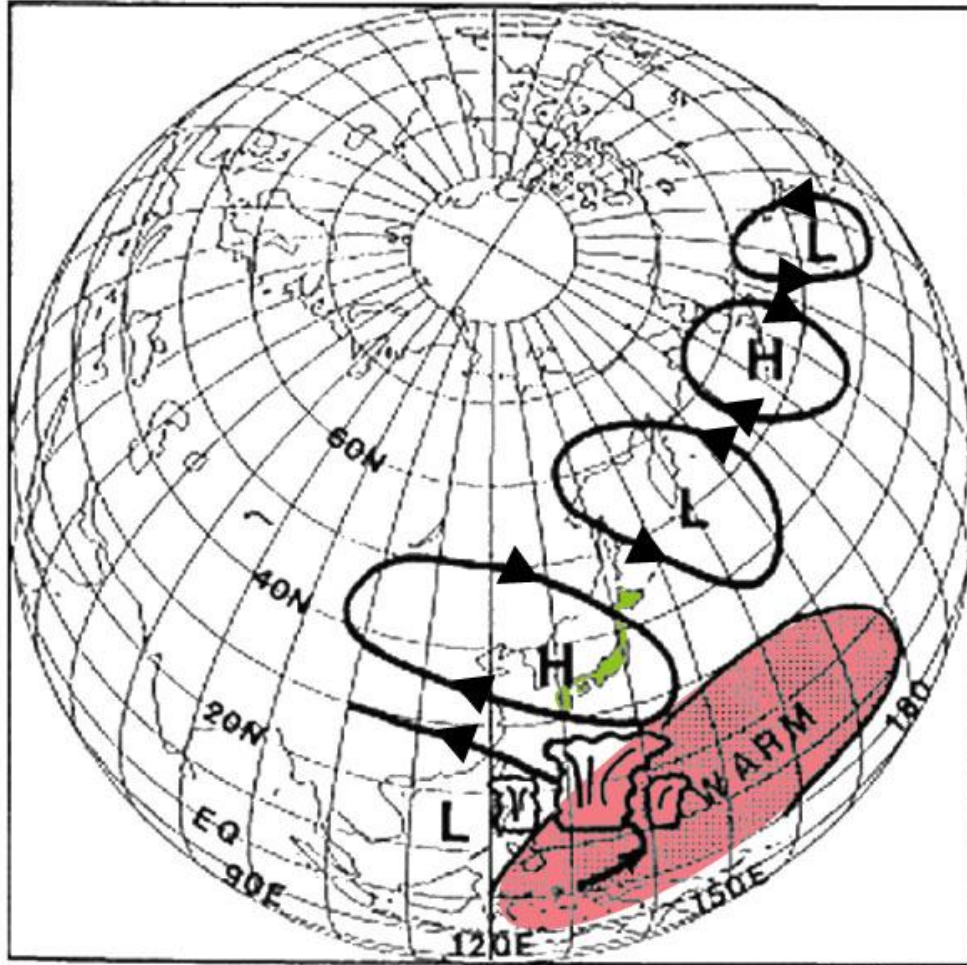


—▲—: 夏平均のフィリピン付近の対流活動の強さ

—○—: 北日本の夏平均気温平年差



# ➡ PJパターン



夏季に、フィリピン付近で対流活動が平年より活発で雲量が多く、日本付近の雲量が少ないという南北パターンが卓越する。

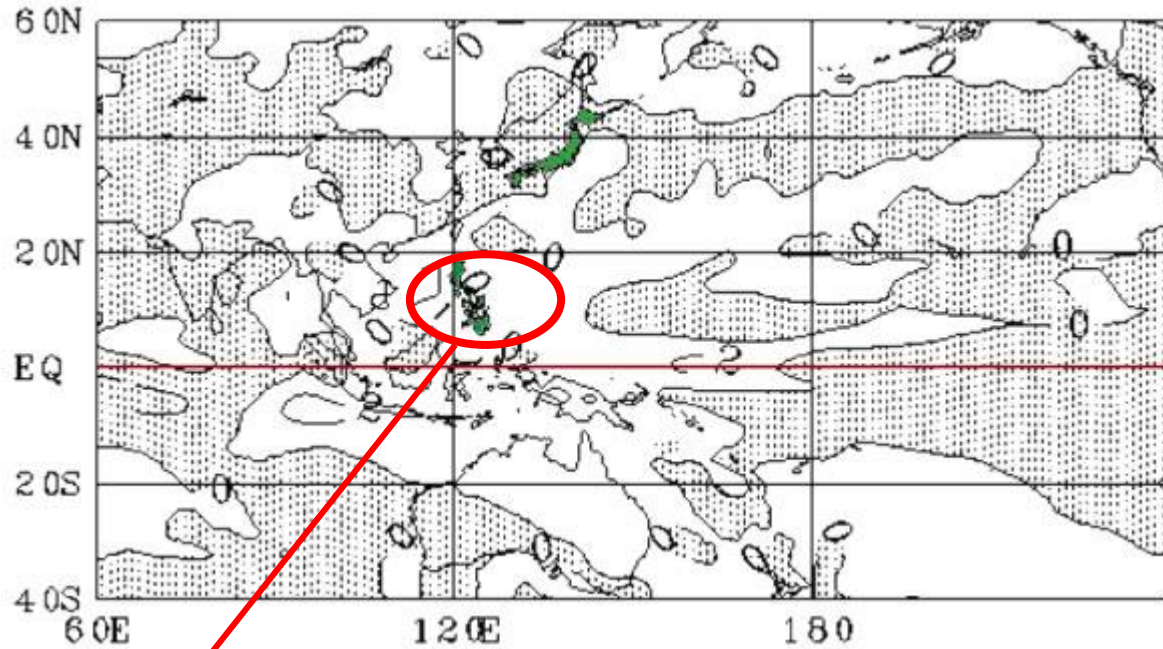
フィリピン付近で対流活動が平年より活発になると、それによる大気加熱でフィリピン付近から北米に連なる波列が生成され、日本付近はそのうちの高気圧偏差に覆われ気温が高くなるというメカニズム。

逆に対流活動が平年より不活発な場合には、日本付近は低気圧性偏差となり、気温が低くなる傾向がある。



# 降水量平年偏差の予想図(7~9月)

陰影部は負偏差(降水量が平年より少ない)



フィリピン近海では降水量が多い=対流が活発

## まとめ

- エルニーニョ/ラニーニャ現象による天候への影響の可能性は低いですが、影響があった場合でも、高温傾向が予想される。
- インド洋熱帯海域の低温傾向が強まった場合でも、高温傾向が期待される。
- ただし、8月は少雨の可能性あり。